

道志村障害者活躍推進計画

機関名	道志村
任命権者	道志村長
計画期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日
道志村における障害者雇用に関する課題	本村においては、これまで障害者に限定した募集・採用は行っていない。若干名の障害者が在職しているが、これまで個別に対応してきており、大きな問題は生じていないところだが、組織的な体制整備は特段行ってこなかった。
目標	
①採用に関する目標	<p>【実雇用率】 (各年6月1日時点) (各年度) 当該年6月1日時点の法定雇用率以上</p> <p>(参考) 令和元年6月1日時点の実雇用率：2.5%</p> <p>(評価方法) 毎年の任免状況通報により把握・進捗管理</p>
②定着に関する目標	<p>不本意な離職者を極力生じさせないことを目標とする。 ※今後、障害者である職員の定着状況データを把握予定</p>
取組内容	
1. 障害者の活躍を推進する体制整備	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障害者雇用促進者として人事の主管である総務課長を選任する。 ○ 障害者職業生活相談員の選任の義務の有無に関わらず、障害者である職員の相談窓口を設定する。 ○ 障害者職業生活相談員の選任義務が生じた場合には、3箇月以内に選任するとともに、当該選任しようとする者が資格要件を満たさない場合には、労働局が開催する障害者職業生活相談員資格認定講習を受講させる。
2. 障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現に勤務する障害者や今後採用する障害者の能力や希望も踏まえ、職務の選定及び創出について検討を行う。 ○ 定期的な面談を行い、障害者と業務のマッチングができているかの点検を行い、必要に応じて検討を行う。
3. 障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障害者の要望を踏まえ、環境整備を検討する。 ○ 障害者については面談等により必要な配慮等を把握し、継続的に必要な措置を講じる。 ○ 必要な措置を講じるに当たっては、障害者からの要望も踏まえつつも、過重な負担とならない範囲で適切に実施する。 ○ 募集・採用に当たっては、以下の取扱いを行わない。 <ul style="list-style-type: none"> ・特定の障害を排除し、又は特定の障害に限定する。 ・自力で通勤できることといった条件を設定する。 ・特定の就労支援機関からのみの受入れを実施する。 ○ 時間単位の年次有給休暇や傷病休暇などの各種休暇制度の利用を促進する。 ○ 本人の希望等も踏まえつつ、実務研修、工場研修等の教育訓練を実施する。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的な面談の設定及び必要に応じて随時面談を実施し、状況の把握及び体調に配慮を行う。 ○ 中途障害者（在職中に疾病又は事故等により障害者となった者をいう。）について、円滑な職場復帰のために必要な職務選定、職場環境の整備等や通院への配慮、働き方、キャリア形成等の取組を行う。
4. その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国等による障害者就労施設等からの物品等の調達等の推進等に関する法律（平成24年法律第50号）に基づく障害者就労施設等への発注等を通じて、障害者の活躍の場の拡大を推進する。